



未来を創る栽培キット

PLANTS MINE PROJECT

地雷ゼロの未来を、地球にやさしい国産エコポットで育てよう。

- セット内容
- 栽培ポット (素材:古紙 100%)
- 種
- 培養土・鉢底シート

●種まきの準備

- 中身をすべて取り出します。
- 上蓋を受け皿にし、容器の穴の上に鉢底シートを敷き、培養土を入れます。
- ゆっくりと水を注ぎ、土全体を割り箸などで混ぜて湿らせます。
勢いよく注ぐと土が浮いてきますので注意してください。
- 土の表面を割り箸などで平らにします。

●種まき

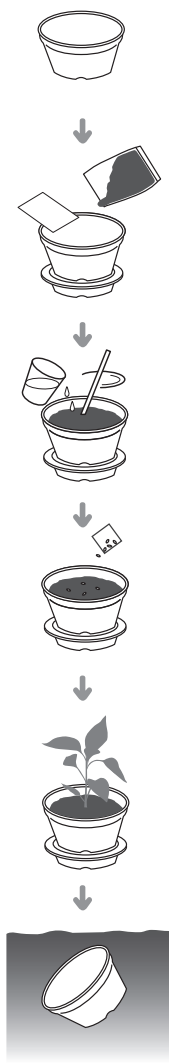
- 品種ごとに上表を参照して、種と種が重ならないようにまきます。
- 周りの土を薄くかぶせて種と土をなじませます。
- 霧吹きなどでやさしく水をやります。

●LANDMINE FREE の旗を立てよう

- パッケージを点線に沿ってカットします。
- 土に優しく旗を立ててください。

	四つ葉のクローバー	バジル	ワイルdstロベリー
発芽適温	15~25℃	20~25℃	20℃前後
栽培適温	15~25℃	20~25℃	15~20℃
種まきの目安	全粒	約15粒	約20粒
間引き後の目安	間引きなし	6本前後	2本前後

栽培の流れ



●発芽までの管理

- 発芽するまでは土の表面を乾かさないように管理します。直射日光を避け、栽培に適した明るい場所に置きます。
※土の乾燥を防ぐためにラップなどを軽くかけておくと発芽しやすくなります。
発芽したらすぐにラップを外してください。
- 発芽前と芽が小さなうちは霧吹きなどでやさしく水をやります。

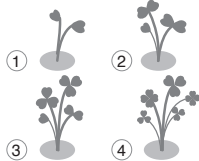
●育て方

- 発芽したら日当たり (半日以上) と風通しの良い場所に置きます。
- 土の表面が乾いたら水やりをします。栽培ポットと受け皿は古紙でできています。
水のやりすぎに注意して、受け皿に水が溜まったら捨ててください。
- 本葉が出始めたら、混み合っている部分を数回に分けて間引きし、育てます。(四つ葉のクローバーは除く)
間引く際は根元を指で押さえてゆっくりと引き抜き、残す苗を傷めないように注意します。
※ワイルdstロベリーは、実をつけるまでに半年以上かかります。

四つ葉のクローバー

- 種まきから2~3ヶ月経ち、茎の本数が増えるほど四つ葉が見つかりやすくなります。
- 草丈が長く伸びたら根元から1~2cm残して全体を刈り込むと、繰り返し生長を楽しむことができます。

四つ葉になるまで



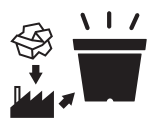
この栽培セットには、高確率で四つ葉になるクローバーの種を使用しています。はじめはすべて三つ葉ですが、大きく育ち茎の本数が増えるにつれて四つ葉を楽しめる確率が高まります。栽培環境により異なりますが種まきから2~3カ月が四つ葉を楽しめる目安です。
※必ず四つ葉が出てくるとは限りません。予めご了承ください。

●育て終わったら

- 植物を育て終わったポットは、そのまま土に埋めてください。年月をかけて生分解して土に戻ります。

ECO POINT

1 eco



このポットは古紙 100%の再生紙でできています。

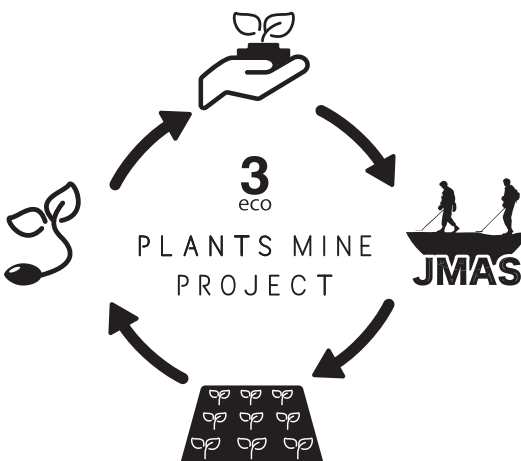
2 eco



使用後はそのまま土に埋めておくと、年月をかけて生分解して土に戻ります。

①PLANTS MINE を販売。

④新たな植物が誕生します。



③安全な土地は農地として活用でき、食料・雇用の創出に繋がります。

△注意

- 種や土などをお子様やペットが誤って口にいけないよう、取り扱いには十分注意してください。
- 種を食用・飼料用に使用しないでください。
- 本品は古紙を原料にしたポットを使用しています。水の与えすぎや高湿度などの条件が重ると劣化したりポット表面にカビが生えたりすることがありますが、ポットの品質には問題はありません。素材の風合いを損なわないためには、風通しと日当たりのよい場所でお使いください。
- 室内で育てる場合は、器の素材の特性上、シミや傷がつきやすい家具などの上に直接置かないでください。
- 気象条件・地域・標高など栽培環境により生長具合や栽培結果は異なります。
- 種まきは真夏・真冬を避け、管理しやすい時期を選んでください。(発芽・栽培適温に達しない場合は発芽しない、または生育不良になる場合があります。)
- 植物の生長には日光が必要です。ベランダや窓ぎわなどの日光が当たる場所で栽培してください。
- 栽培を始めるまでは直射日光・高温・多湿を避け、涼しい所で保管してください。
- クローバーは生育が旺盛なため、庭などに植え替えた場合は、他の植物の生長に影響する場合があります。